



## 前回改正から4年 議員定数等を再検討へ

(平成18年4月10日、小美玉市としての初議会)

合併から20ヶ月間は在任特例により旧町村議員49名が在籍。その後、平成19年12月の議員改選後からは議員定数が24人となり現在に至る

平成の大合併(1999～2010年)により、市町村数は約3,200から1,700へと半減し、また、首長・議員などの特別職は2万人以上減員しました。この財政削減効果は年間1,200億円と算出されています。

また、本市の議員定数についても、これまで平成18年6月定例議会において、他自治体等の状況等を踏まえ24人と決定され、合併直前の議員数50人から半減したことにより、議会関係予算は、合併当初に比べ年間1億4千万円以上が削減されました。

現在、前回の定数改正から4年が経過し、国では、地方がより主体的に地域の実情を捉えた対応を可能とする地域主権の枠組みが議論され、また、その一方、県内市議会では、行財政改革推進の流れの中、さらに議員の定数削減等を進める動きもあることから、こうした各方面の状況を踏まえて、今後、来年11月の議会改選後からの適用を視野に、改めて議員定数等について検討していくこととしました。

### 「県内の市議会と比較」

項目	議員定数	議員報酬	@議員	議会費割合
最高	26人	39万5千円	2,494人	1.48%
最低	21人	24万円	1,770人	0.84%
平均	24.3人	34万1千円	2,141人	1.20%
小美玉	24人	29万6千円	2,205人	1.05%

\*県内34市のうち本市の人口から前後5千人程度の規模の市及び市議会と比較(北茨城、常陸太田、常陸、大宮、那珂、鉾田、桜川、結城、稲敷、坂東市)

\*@議員:議員1人当たりの市民の数

\*議会費割合:一般会計当初予算の歳出に占める割合

(データ:H21茨城県市議会運営等に関する調査)

## 全国・県市議会議長会から「永年勤続表彰」を受賞

### ■全国市議会議長会表彰(勤続10年以上)



木名瀬 幸吉



市村 文男

### ■茨城県市議会議長会表彰(勤続8年以上)



戸田 見成



高谷 庄二